

見守り 新鮮情報

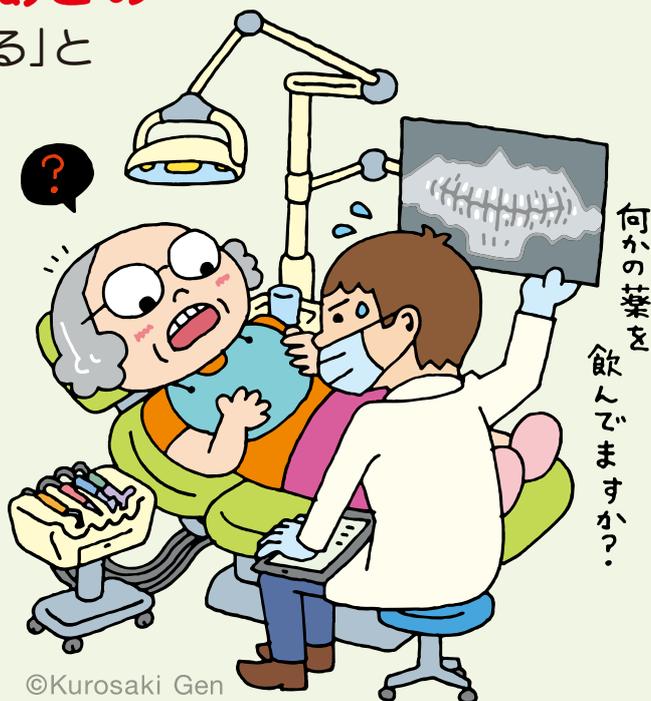
事例1 数年前、全ての歯を**インプラント**

にした。定期検診でレントゲン画像を見た歯科医師に「薬を飲んでいるか」と聞かれ、**骨粗しょう症の薬**を飲んでいることを伝えると、大学病院に行くよう促された。

大学病院では、「**あごの骨が腐食**し始めている」と言われた。(80歳代 女性)

事例2 **インプラント**

治療後に**頭痛**がして、**あごが腫れ**痛んだ。他の医療機関でインプラント体の埋め方が浅いことが分かり、外して**やり直した**。(70歳代 女性)



歯科インプラント治療 十分理解してから受けましょう

ひとこと助言

慎重に
判断しよう



- 歯科インプラント治療は、歯が抜けたところのあごの骨に人工の歯の根(インプラント体)を埋め込み、その上に人工の歯を作るものです。
- 治療に外科手術を伴うので、服用している薬や基礎疾患等によっては、注意を要する場合があります。治療を受ける場合には、自分でもしっかりと情報を収集し、歯科医師に治療方法や費用、リスク等の説明を求め、口腔内および全身の状況を確認した上で、本当に受けるかどうか慎重に判断しましょう。
- 治療後不具合が生じ、手術を受けた医院でも対応されない場合、速やかに歯科大学、大学の歯学部付属病院、口腔外科専門医等を受診しましょう。